

今週（8月19日から8月23日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コール市場は、前週と同様に週を通して変動の少ないマーケットとなった。

19日(月)から22日(木)までの無担保コールO/N物は、邦銀業態を中心に0.226~0.228%での出会いが多く見られたため、加重平均レートは0.227%の横這いで推移した。積み期序盤であることから、ビッド件数が多く、積極的な調達が見られるなか、23日(金)には週末3日積みを迎えたが、大きな変化は見られず、出会い水準は引き続き横這い圏での推移となった。

日銀当座預金残高は、21日(水)に20年債の発行による減少や22日(木)に国債買入オペによる増加要因が見られたものの、概ね549兆円前後で落ち着いて推移した。

●レポ市場

今週のGC T/N物は、0.150~0.255%の出会いと、ワイドレンジでの推移となった。週前半は、オファーサイドの資金調達姿勢が強かったことからレートが上昇したものの、21日(水)の国債買入オペ以降、オファーサイドの勢いが弱まる場面も見られレートは低下した。

SCについては、カレント銘柄近辺や、チーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、入札を通じて1Yゾーンの水準が調整された。

19日(月)に行われた1Y物入札は、テールが流れる結果となったものの、セカンダリーマーケットでは小じっかりと推移した。23日(金)に行われた3M物入札は、強い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、電気機器、小売業、鋳業、鉄鋼など複数の業態が大型発行を実施した。

市場残高は、24兆円台前半から始まり、週後半には24兆円台後半まで増加した。

発行レートについては、引き続き銘柄により投資家の運用目線にばらつきが見られるものの、概ね0.25%以上での推移となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/19 (月)	37,388.62	0.885	147.86	0.227	0.223	5,494,900
8/20 (火)	38,062.92	0.885	146.40	0.227	0.240	5,496,500
8/21 (水)	37,951.80	0.865	145.00	0.227	0.239	5,480,100
8/22 (木)	38,211.01	0.870	145.35	0.227	0.229	5,506,700
8/23 (金)	38,364.27	0.890	146.12	0.227	0.227	5,505,300

来週（8月26日から8月30日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/26 (月)	6月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				7月の米耐久財新規受注 London祝日(SummerBankHoliday)
8/27 (火)	7月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	流動性供給 4,000億円 8/28発行	交付税借入 12,500億円 9/4借入		6月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 8月の米CB消費者信頼感指数
8/28 (水)					
8/29 (木)	月例経済報告(内閣府) 8月の消費動向調査(内閣府 14:00)	2Y 26,000億円 9/2発行	交付税借入 11,950億円 9/9借入		4-6月期の米GDP改定値
8/30 (金)	8月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 7月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 7月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 7月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 7月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 7月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	TB3M 49,000億円 9/2発行			7月の米個人所得・消費支出(PCE) 8月のシカゴPM景況感指数 8月のユーロ圏消費者物価指数速報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/26 (月)	100	7,100	7,200	国債買入 国債補充	▲ 100 15,300		15,200	22,400	TB3M発行▲49,000償還58,000 国債有林野借入▲1,000期日1,000
8/27 (火)	1,000	1,000	2,000				0	2,000	
8/28 (水)	▲ 300	▲ 5,000	▲ 5,300				0	▲ 5,300	流動性供給▲4,000
8/29 (木)	▲ 500	1,000	500				0	500	
8/30 (金)	800	4,500	5,300	CP買入		4,000	4,000	9,300	地方譲与税譲与金の払い 交付税借入▲12,500期日12,500
週間合計	1,100	8,600	9,700	—	15,200	4,000	19,200	28,900	

8/26は日銀予想、8/27以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが底堅く、今週と横ばい圏での出合いが予想される。債券レポGC T/N物のレート水準は、月末週となるため、やや低下する場面も想定されることから、0.100~0.240%のレンジで推移する事が予想される。短国市場は、30日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、27日(火)にCP等買入オペが4,000億円予定されており、結果が注目される。

主要なイベントは、国内では30日(金)に8月の都区部消費者物価指数、7月の完全失業率・有効求人倍率、7月の鉱工業生産・出荷・在庫速報、海外では、29日(木)に4-6月期の米GDP改定値、30日(金)に7月の米個人所得・消費支出(PCE)、8月のユーロ圏消費者物価指数速報値の発表などが予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入